

2025 年 1 月 22 日

株式会社ヘッドウォーターズ
(コード番号：4011 東証グロース)

次世代 AI エージェントサービス「SyncLect AI Agent」の提供開始

AI ソリューション事業を手掛ける株式会社ヘッドウォーターズ（本社：東京都新宿区、代表取締役：篠田 庸介、以下「ヘッドウォーターズ」）は、マルチ AI エージェント機能を搭載し、企業独自の高度な AI エージェントプラットフォームを構築する「SyncLect AI Agent」のサービス提供を開始しました。

本製品は、AI エージェントプラットフォーム「SyncLect Generative AI」（※1）の後継となる次世代型ソリューションであり、企業における生成 AI 活用のさらなる進化を実現いたします。



■背景

昨今、多くの企業が生成 AI を活用した先進的な業務効率化や高度な意思決定支援を求める中、従来の単一 AI モデルでは複雑なタスク処理やカスタマイズの対応に限界があるとの声が高まっています。また、生成 AI プロジェクトでは費用対効果の向上も重要な課題とされており、これらを解決する新しいアプローチが求められています。

これらの課題を解決する新しいアプローチとして「AI エージェント」が成果を上げています。AI エージェントは、従来の AI では対応が難しかった複雑なタスクを自律的に処理する能力を持ち、データ入力やレポート作成などのルーチンタスクを自動化します。これにより人的エラーが減少し、企業はコストを削減しながらリソースを戦略的な分野に集中できるようになります。さらに、24 時間稼働可能な AI エージェントは、顧客サービスの向上や業務継続性の確保にも寄与します。

ヘッドウォーターズでは、これまでコンタクトセンター AI エージェント（※2）、駅員業務 AI エージェント（※3）、マイグレーション AI エージェント（※4）、車載エッジ AI エージェント（※5）のほか、文章校正 AI や翻訳 AI など、様々な AI エージェントの開発支援を行ってまいりました。

そして、今、生成 AI 分野における次世代技術として注目されているのが「マルチエージェント」です。

「マルチエージェント」は、複数の自律的な AI エージェントが連携して動作するシステムであり、それぞれのエージェントが独自の判断基準に基づき行動しながら情報を共有し、複雑なタスクを効率的かつ柔軟に処理します。こうした技術の特性は、企業が直面する課題の解決に直結しており、その導入ニーズが急速に高まっています。

特に、企業は投資対効果を重視するため、まず単一の AI エージェントを構築し、その後で複数の AI エージェントを連携させたシステムを構築したいというニーズが高まっており、当社への「マルチエージェント」に関する相談件数も増加しています。

こうした生成 AI 活用をさらに強化したいという企業ニーズに応えるため、Microsoft の AI イノベーションパートナー（※6）であるヘッドウォータースは、Microsoft Azure と AI エージェント技術を最大限に活用した企業向けプラットフォーム「SyncLect AI Agent」を開発しました。「SyncLect AI Agent」は、AutoGen（※7）を活用することで複数の AI エージェントが連携し、複雑で高度なタスクを効率的に処理する環境を提供します。

■ SyncLect AI Agent について

SyncLect AI Agent は、AI エージェント同士が連携し、複雑なタスクを効率的かつ柔軟に遂行する次世代型 AI サービスです。企業の業務環境に合わせた高いカスタマイズ性を誇り、生成 AI 活用の幅を広げる、「業務全体を最適化する AI エージェントプラットフォーム」となります。

<主な特徴>

・マルチエージェント

AutoGen を活用することで、各エージェントが役割を分担し、連携してタスクを解決できるため、高度なプロセスの自動化が実現します。また、エージェントテンプレートを用意することで、既存の AI エージェントを「Azure Cosmos DB」にナレッジとして保存した上での再利用が可能となります。これにより、企業が持つ AI エージェントのアセットを効率的に蓄積・活用することができます。

・AI エージェントプラットフォーム基盤を早期構築

企業独自の AI エージェントプラットフォーム基盤を Microsoft Azure 上で自動構築するため、スクラッチで開発するよりも早期に利用開始することができます。また、アプリケーション部分は独自にカスタマイズ開発が可能で、企業グループが横断的に利用できる AI エージェントプラットフォームを構築することもできます。

・マルチモーダル

お客様からの電話に対応する音声認識、ドキュメントの読み込みに必要な画像認識、動画情報を解析する映像認識など、異なるデータ形式を同時に扱うことが可能です。

- ・マルチモデル

日々更新される生成 AI モデルに対応するアップデートを行い、Azure Model Catalog を中心とした様々な LLM エンジンを活用可能です。

- ・マルチ UI/マルチプラットフォーム

柔軟なカスタマイズに対応し、チャットインターフェースに加えて企業独自の Web やモバイルアプリ、電話、デジタルヒューマン、ロボティクスなど、オムニチャネルの応用が可能です。

- ・マルチデータ連携

データ分析基盤である Microsoft Fabric、Azure Databricks、Synapse Analytics と連携し、企業ごとに格納された Oracle、SAP、BOX などの外部データと統合も可能です。また、プロファイルエージェントの導入により、ユーザーの行動データやプロファイル情報からパーソナライズされたレコメンデーションを提供できます。

- ・エンタープライズセキュア

本サービスは生成 AI SaaS とは異なり、お客様のクラウド環境にプラットフォームを構築するため、「データを外部に出したくない」というお客様でも安心してご利用いただけます。さらに、「Microsoft Entra ID」を用いたデータユーザー認証、「Key Vault」による暗号化、「Private Link」によるプライベート通信などを活用し、エンタープライズ向けのセキュアな環境を提供します。

- ・運用効率性

頻繁なアプリケーションリリースを可能にする「Azure Kubernetes Service」、並行ワークフロー処理を実現する「Durable Functions」、オブザーバビリティを提供する「Azure Monitor」を活用することで、運用効率を向上させます。

- ・拡張性

Azure AI Foundry（※8）と連携し、運用フェーズにおいても AI エージェントの継続的な進化をサポートし、プロジェクトの拡張性と柔軟性を考慮します。また、「Azure ML」を活用することで、人間のフィードバックを考慮した強化学習や「Azure AI Service」と連携も可能です。

■今後の展開

ヘッドウォータースは「SyncLect AI Agent」を通じて、企業が生成 AI を活用し、新たな価値を創出する未来の実現を目指しています。これにより、業務効率化やコスト削減といった既存の課題を解決だけでなく、次世代のユーザー体験を提供する革新的な AI ソリューションの開発に取り組んでまいります。

なお、本件による当社の当期業績に与える影響は軽微であります。今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上

■ AI エージェントとは

AI エージェントは、自律的に特定のタスクを実行するインテリジェントなシステムです。これらのエージェントは、複数の AI モデルを組み合わせ、単一のモデルでは困難な高度なタスクを自動で実行します。企業では、電話対応やスケジュール管理、データ入力などの業務を自動化するために利用され、効率的なビジネス成果を達成するのに役立ちます。AI エージェントの国内市場は急速に成長しており、2024 年から 2030 年にかけての年平均成長率（CAGR）は 44.8%と予測されています。

■ マルチエージェントとは

マルチエージェントシステムは、複数のエージェントが相互に作用し、協調してタスクを達成するシステムです。各エージェントは自律的に行動し、周囲の環境や他のエージェントと情報を交換しながら、全体としての目標を達成します。

※1：「SyncLect Generative AI」とは

RAG を含む Copilot Stack な企業向け生成 AI 基盤を早期に提供するサービスです。企業が持つ Microsoft Azure 環境にエンタープライズセキュアなインフラを自動構築し、生成 AI システムでよく使う機能をコンポーネント（部品）として用意、Web やモバイルアプリ、Microsoft Teams などのマルチプラットフォーム展開、任意の LLM に切り替えることを可能にし、テンプレート ChatGPT 単体ではできない部分の強化・拡張を行うために LLM ライブラリを利用可能とします。

このように、企業向けの生成 AI カスタムニーズに合わせた機能を提供します。

※2

大和証券と協働し、AI オペレーターを開発 ～ 生成 AI 活用による顧客体験（CX）変革を実現 ～

https://www.headwaters.co.jp/news/hws_daiwa_ai_operator.html

※3

JR 西日本の生成 AI「Copilot for 駅員」に対する開発支援を行っています

https://www.headwaters.co.jp/news/jr_west_ai_copilot_for_ekiin.html

※4

「Azure OpenAI Service OpenAI o1」や「GitHub Copilot」などの生成 AI をマイグレーションに活用する「マイグレーション AI エージェント サービス」を開始

https://www.headwaters.co.jp/news/migration_aiagent_service.html

※5

自動車業界向け生成 AI サービスラインナップを強化 ～第一弾は車載エッジ AI エージェント～

https://www.headwaters.co.jp/news/Invehicle_edge_ai_agent_hws.html

※6

マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2024 において「AI イノベーション パートナー オブ ザ イヤー アワード」を受賞

https://www.headwaters.co.jp/news/microsoft_Japan_partner_year_award_2024.html

※7 : AutoGen とは

AutoGen は、AI エージェントを構築し、複数のエージェントが協力してタスクを解決するためのオープンソースのプログラミングフレームワークです。AutoGen は、複雑な大規模言語モデル（LLM）ベースのワークフローのオーケストレーション、最適化、自動化を簡素化します。エージェントはカスタマイズ可能で、会話を通じてタスクを解決することができます。これにより、開発者はより効率的に高度な LLM アプリケーションを構築できるようになります。

<https://microsoft.github.io/autogen/>

※8 : Azure AI Foundry について

Azure AI Foundry は、開発者が AI ソリューションを迅速に構築、テスト、デプロイできる統合プラットフォームです。最新の AI ツールと機械学習モデルを活用し、エンタープライズグレードの生成 AI アプリケーションを開発するための強力なサポートを提供します。

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/ai-studio/what-is-ai-studio>

■商標について

Microsoft、Azure、Azure Cosmos DB、Microsoft Entra、Microsoft Teams は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■会社情報

会社名：株式会社ヘッドウォーターズ

所在地：〒163-1304 東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 4 階

代表者：代表取締役 篠田 庸介

設 立：2005 年 11 月

URL : <https://www.headwaters.co.jp>

■本件のお問い合わせ先

株式会社ヘッドウォーターズ

メール：info@ml.headwaters.co.jp